

2019年7月8日

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

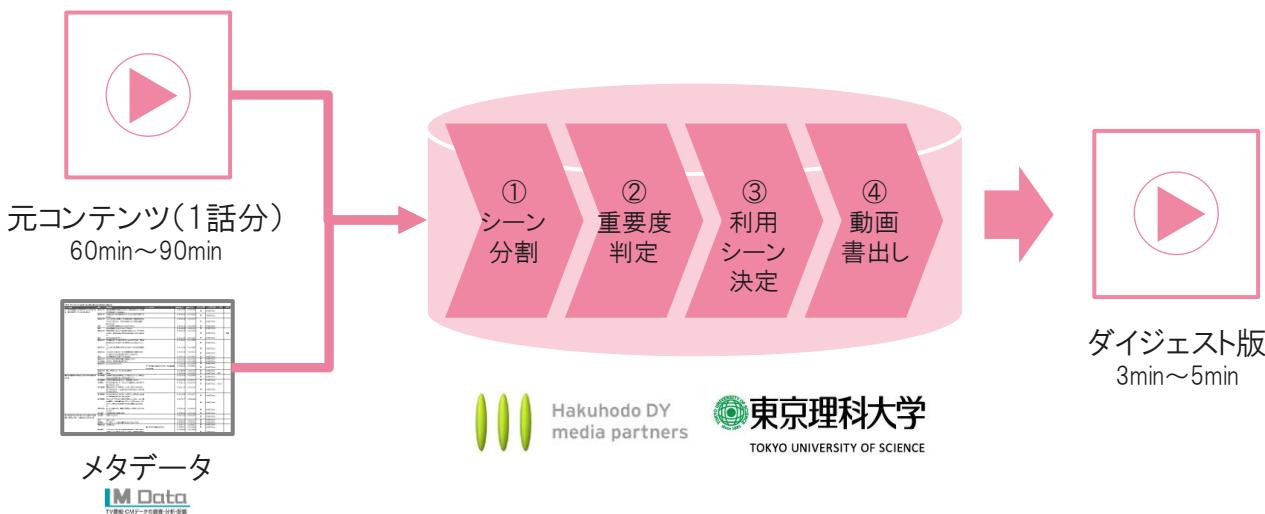
**博報堂DYメディアパートナーズ、東京理科大学、エム・データが  
ダイジェスト動画自動生成システムのβ版を共同開発。  
TBS系火曜ドラマ「Heaven?～ご苦楽レストラン～」で試験運用を開始。**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ（本社：東京都港区、社長：矢嶋弘毅、以下「博報堂DYメディアパートナーズ」）と東京理科大学（東京都新宿区、学長：松本洋一郎）理工学部 大和田研究室は、AIを活用した次世代型メディア・コンテンツの共同開発第二弾として、ドラマのダイジェスト動画を自動生成するシステムのβ版を開発致しました。

本システムは出演者の発話やテロップなど、テレビドラマのメタデータを自然言語処理することで各シーンの重要度を判定し、指定の長さでアウトプットを生成することができます。

なお本システムの鍵となるメタデータに関しては、取得するデータ項目の検討から実際のデータ取得まで、株式会社エム・データ（本社：東京都港区、代表取締役 関根俊哉）の全面協力により実現いたしました。

ダイジェスト動画自動生成システムの概要



5Gの商用サービススタートを控え、今後は動画コンテンツが指数関数的に増え、生活者のメディア接触時間の奪い合いが益々熾烈になることが予想されます。そのような環境の中でダイジェスト動画は生活者にドラマ全体を視聴してもらうためのプロモーションとして有効であると考えております。

本システムはドラマ全体のダイジェスト化編集作業の効率化を実現するだけでなく、例えば出演者それぞれにフィーチャーしたダイジェスト動画を生成することも可能です。今回TBSテレビの協力により、7月9日よりスタートする火曜ドラマ「Heaven?～ご苦楽レストラン～」（火曜よる10時）で本システムを試験的に運用することとなりました。主要キャストそれぞれにフィーチャーしたダイジェスト動画を「AIドラマダイジェスト“ドラジエ”」と銘打って、番組公式サイトならびにSNS等の番組公式アカウント

トで配信していく予定です。

今後の展開としては、ドラマ以外のカテゴリの動画コンテンツへの対応、画像音声認識技術を活用することによるメタデータ付与の効率化、番組制作そのもののへの活用（例えば、ドキュメンタリ・ニュース素材等の膨大な取材テープの一次編集自動化など）も視野に、さらなるバージョンアップを図っていく予定です。

博報堂DYメディアパートナーズは、来る5G時代における生活者のメディア接触行動に対応していくだけでなく、TV局などのメディア事業者の業務効率化も支援していきます。

■本件に対するお問い合わせ

博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 山崎、彭（ペン） 03-6441-9347